

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

ソフトスケープの高森と申します。事務所を立ち上げて 18 年目になります。

学校を出て最初に勤めたのは農業土木系コンサルで、農道や圃場整備などの設計を行いました。その後河川系のコンサルに移り、漁港構造物設計、河道計画、河川構造物設計等を行ってきました。

途中、都市計画系事務所への出向の機会があり、地域振興計画、景観形成計画・施設デザイン等を行いました。これまでに経験した業務分野は多岐にわたりますが、現在も都市計画、土木(道路・河川・公園等)に関わる調査・計画・設計など幅広いジャンルに関わらせていただいております。自分の中で特にテーマとしているのは「景観・デザイン」で景観計画を含む計画策定、景観誘導施策検討や河川景観デザイン、公園設計等を行っています。

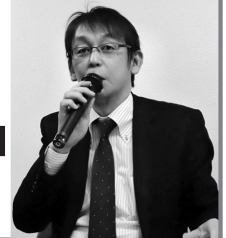
話は変わりますが、3 年前くらいからゴルフを始めました。50 を超えてからの遅いデビューとなりましたが、今は完全にはまっています。私がゴルフを始めてから、私を誘った周りの友人たちも本気度が増し、新しい仲間も増え、いつも楽しくラウンドしています。一昨年、渋野日向子選手が全英オープンで、最近では松山英樹選手がマスターズで優勝するなど日本のゴルフ界はにわかに盛り上がりを見せています。また、昨年からのコロナ禍の中で、比較的感染のリスクが少ないレジャーとしてゴルフ人気が高まっているとも聞いております。いよいよ今年も北海道のゴルフシーズンが始まります。4 月から 11 月までの短い期間ですが、渋野選手と同じ PING の白い帽子をかぶり、松山選手と同じクリーブランドのウェッジを持って今年も楽しもうと思います。

高森 篤志 (たかもり あつし)

●建設部門(都市及び地方計画)

勤務先

株式会社ソフトスケープ



➡次号は、中山祐二さん(建設部門)

昔、中学校の合唱会で「ダム之歌」を歌った。ダムなどに関心がない当時の自分には、やや唐突な曲だった印象がある。1 年後の夏、私は黒部ダムにいた。観光客で賑うダムサイトで恩師や旧友と歌う「ダム之歌」は赤面ものだったが、北アルプスの渓谷に鎮座する堤高 186m のアーチウイングダムを前に、畏れに似た好奇心を抱いた。散策し堤頂に佇むと、湖面を渡る風が頬を撫でた。

社会人になり、振り返ると農業用ため池の改修工事や農地防災ダムの管理などに数多く携わってきた。河川管理者として勤務した部署では、河口から車で 3 時間もかかる日高の発電用ダムに赴いたことが一度ある。河川維持流量に関する調査だったが、堤高 60m を超えるアーチダムの堤頂に立った時、ぴゅうと風が吹き、ふと黒部ダムを思い出したものだ。ダムを築造し管理するためには、安全と機能の確保に向けた地質や土木など広い技術分野の課題克服に加え、環境保全や社会との合意形成の難題も乗り越えなければならない。最近、久し振りに映画「黒部の太陽」を観た。土木工事に永く携わってきた身としては、描かれている技術者の駆引きや苦悩に、今更ながら胸がつまる思いがした。そして、直向きであり一徹であるその任務遂行の陰には、人知れぬ犠牲があることにも。三船敏郎が演じる工事責任者の涙のわけは、とても筆舌に尽くし難い。

私は今、無人航空機を活用した農業関連施設等の管理や測量に関し、普及に向けた有効性と課題を探っている。稲穂がたわわに実る空知の秋、鼻歌でため池の堤頂を歩む。わずか 10m 余りの高さであるが、46 年前の黒部ダムと同じ風が吹いている。

引地 庸介 (ひきち ようすけ)

●農業部門(農業土木)

勤務先

扇コンサル 株式会社



➡次号は、井形 淳さん(建設/上下水道部門)